

# お寺・神社を最もよく訪ねている職業は「会社役員・経営者」

～神社を訪れる30代・40代女性の4割が厄落としを受け、お守りを授かっている～

国内1,200社超が利用する日用品流通の情報基盤を運営する株式会社プラネット（所在地：東京都港区、代表取締役社長：田上正勝）は、消費財にまつわるトピックスをお届けする『Fromプラネット』の第90号として、お寺・神社に関する意識調査の結果をご紹介します。バックナンバー [https://www.planet-van.co.jp/news/from\\_planet.html](https://www.planet-van.co.jp/news/from_planet.html)

## ■ お寺・神社に“よく行く”…70代以上では8割、30代では6割以下

お墓参りや祭りで訪ねる機会があり、夏には身近な存在になるお寺や神社。近年はパワースポットとしても人気です。今回は、お寺・神社をテーマにアンケートを行い、お寺・神社を訪ねるシーンやどんな願掛けをするか、お賽銭の金額などについてまとめました。

はじめに、お寺と神社のどちらによく行くかを尋ねました。すると、「お寺」によく行くという人が9.1%、「神社」によく行く人が23.9%、「両方とも行く」が33.4%。合計すると66.4%で、3人に2人がお寺か神社のどちらかにはよく行くと答えていました。

性年代別では、男女ともに、年代が上がるほど“行く”計が高くなり、最も高かったのは男性の70代以上で79.4%。男女ともに70代以上では「両方とも行く」が5割前後を占め、“行く”計は約8割に達していました。一方で、若年層ほど“行く”計は低くなり、男女ともに30代では6割を切りました。

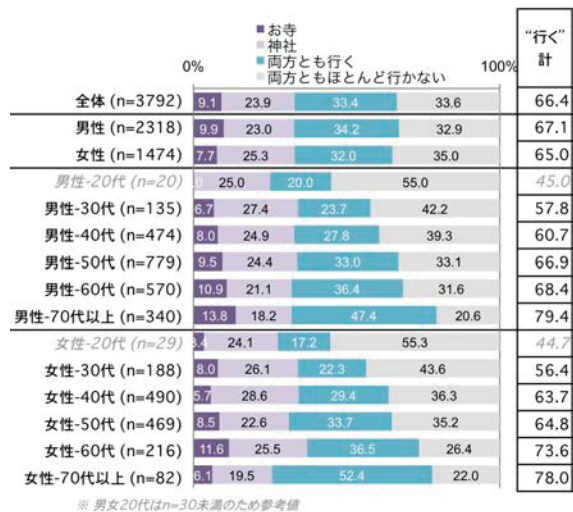
日本人にとってお寺・神社はなじみ深いはずの場所ですが、若い世代は少しずつ足が遠のいているようです。

## ■ 成功に神仏の力は欠かせない？ 役員・経営者の8割が“よく行く”

エリア別では、“行く”計が最も高かったのが「甲信越」73.9%、次いで「東北」70.0%でした。一般的に神社仏閣が多いイメージの「近畿」は69.6%と、「東北」に次ぐ3位。また、四国八十八ヶ所の霊場めぐりで知られる「四国」でも「両方ともほとんど行かない」が全エリア中トップになるなど、意外な結果が。「近畿」や「四国」の寺社には観光で訪れる人が多く、地元の人あまり足を運ばないのかもしれませんが。

職業別では、「会社役員・経営者」で“行く”計が最も高く、80.0%と8割を占めました。開運、運氣アップに事業の成功…など、かなえない願いごとの多いのかもしれませんが。“神頼み”するだけではないと思いますが、能力や実行力だけでなく、神仏の力もおそろかにしないのは組織の上に立つ者の器量と言えそうです。

表1 「お寺と神社のどちらによく行きますか」 について  
の回答



### 《 エリア別 》

	合計 (n)	お寺	神社	両方とも行く	両方ともほとんど行かない	“行く”計
全体	3792	9.1	23.9	33.4	33.6	66.4
北海道	160	11.9	25.6	18.8	43.7	56.3
東北	170	13.5	27.1	29.4	30.0	70.0
甲信越	115	12.2	27.0	34.7	26.1	73.9
関東	1759	9.4	22.5	34.6	33.5	66.5
東海	369	7.0	26.6	30.9	35.5	64.5
北陸	65	7.7	18.5	36.9	36.9	63.1
近畿	688	8.3	24.3	37.0	30.4	69.6
中国	178	10.7	25.8	28.7	34.8	65.2
四国	76	7.9	11.8	31.6	48.7	51.3
九州・沖縄	212	4.7	27.8	32.1	35.4	64.6

全体 +10% +5% -5% -10% (%)

### 《 職業別 》

	合計 (n)	お寺	神社	両方とも行く	両方ともほとんど行かない	“行く”計
全体	3792	9.1	23.9	33.4	33.6	66.4
会社役員・経営者	120	12.5	21.7	45.8	20.0	80.0
会社員	1388	7.3	27.7	32.7	32.3	67.7
自営業	328	10.7	23.2	32.9	33.2	66.8
パート・アルバイト	439	6.8	25.5	27.3	40.4	59.6
公務員	135	13.3	17.0	35.6	34.1	65.9
自由業	105	7.6	26.7	29.5	36.2	63.8
専業主婦(主夫)	546	8.4	24.7	34.1	32.8	67.2
学生	8	12.5	12.5	25.0	50.0	50.0
定年退職	355	13.8	16.6	45.1	24.5	75.5
無職	328	11.3	15.9	26.2	46.6	53.4
その他	40	10.0	20.0	37.5	32.5	67.5

※n=30未満は参考値 全体 +10% +5% -5% -10% (%)

調査機関：インターワイヤード株式会社が運営するネットリサーチ『DIMSDRIVE』実施のアンケート「お寺・神社」。  
期間：2018年6月6日～6月22日、DIMSDRIVEモニター3,792人が回答。  
表2～表8、エピソードも同アンケートです。

# ■ お寺に行くのは葬式やお墓参り…神社に最も行くのはどんなとき？

続いて、どんなときにお寺・神社に行くかを聞きました。「お寺」「神社」それぞれについて、結果は表2と表3のとおりでした。お寺(表2)では、「お葬式、法事などの仏事」70.3%、「供養・お墓参り」50.1%が1位・2位に挙がりました。一方、神社(表3)では「初詣」が86.0%で圧倒的1位。次いで「観光・名所めぐり」48.9%、「厄落とし・ご祈祷」32.8%でした。「初詣」「厄落とし・ご祈祷」は同じ項目のお寺の数値を大きく上回り、神社で行う人が多数派だとわかります。「お守りの購入」「おみくじを引く」「願掛け」も、神社の数値がお寺の数値の2倍以上を獲得していました。一方、「観光・名所めぐり」「参詣」は、お寺・神社とも数値に大差がなく、大半の人はお寺・神社の区別なく訪れていると考えられます。お寺には仏事など儀式の際に訪れ、神社には自分の願いごとがあるときなど、もう少し気軽に訪れていることがうかがえます。

表2 「どんなときにお寺に行きますか」 についての回答

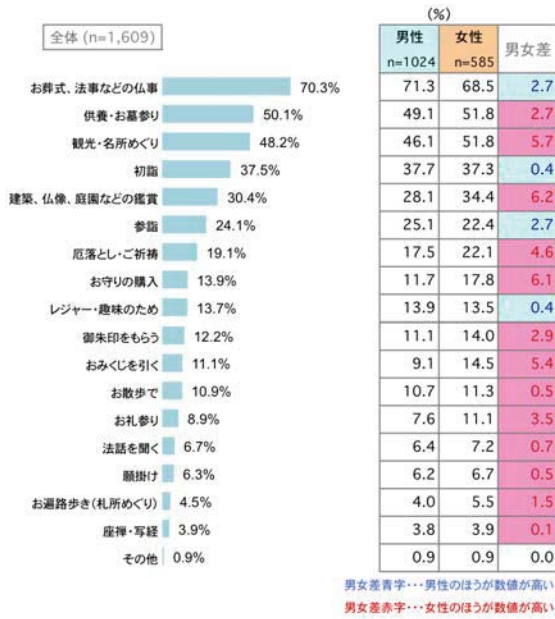
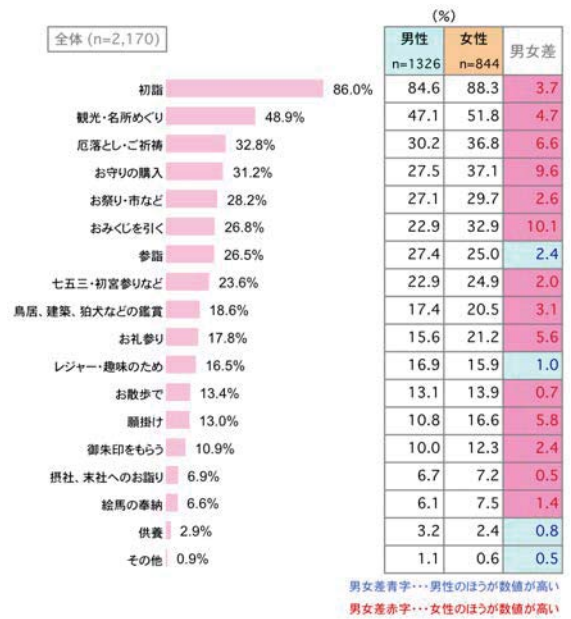


表3 「どんなときに神社に行きますか」 についての回答



「厄落とし・ご祈祷」32.8%でした。「初詣」「厄落とし・ご祈祷」は同じ項目のお寺の数値を大きく上回り、神社で行う人が多数派だとわかります。「お守りの購入」「おみくじを引く」「願掛け」も、神社の数値がお寺の数値の2倍以上を獲得していました。一方、「観光・名所めぐり」「参詣」は、お寺・神社とも数値に大差がなく、大半の人はお寺・神社の区別なく訪れていると考えられます。お寺には仏事など儀式の際に訪れ、神社には自分の願いごとがあるときなど、もう少し気軽に訪れていることがうかがえます。

男女差に注目すると、お寺・神社ともに女性のほうが数値が上回る項目が多く、特にその差が大きかったのが、神社で「おみくじを引く」(10.1ポイント(=以下p)差)、「お守りの購入」(神社で9.6p差、お寺で6.1p差)、神社で「厄落とし・ご祈祷」(6.6p差)など。厄年や願いごとをかなえたいときなどに、神社を訪れる女性が多いようです。近年静かなブームを呼んでいる「御朱印をもらう」も、お寺・神社ともに1割を超え、男性より女性のほうが高くなっていました。

## ■ 女性の30代・40代に特に多い、神社に行く理由とは…

表4 「どんなときに神社に行きますか」 についての回答 (性年代別 上位14項目)

	合計 (n)	初詣	観光・名所めぐり	厄落とし・ご祈祷	お守りの購入	お祭り・市など	おみくじを引く	参詣	七五三・初宮参りなど	鳥居、建築、狛犬などの鑑賞	お礼参り	レジャー・趣味のため	お散歩で	願掛け	御朱印をもらう
全体	2170	86.0	48.9	32.8	31.2	28.2	26.8	26.5	23.6	18.6	17.8	16.5	13.4	13.0	10.9
男性-20代	9	77.8	33.3	33.3	55.6	11.1	55.6	0.0	22.2	22.2	0.0	22.2	11.1	0.0	22.2
男性-30代	69	85.5	43.5	27.5	30.4	23.2	33.3	15.9	15.9	15.9	17.4	30.4	18.8	13.0	14.5
男性-40代	250	87.2	41.2	32.0	28.8	19.6	25.2	20.0	16.8	13.6	14.0	19.6	13.2	13.2	11.2
男性-50代	447	85.0	42.7	28.4	25.3	24.8	22.4	26.8	16.8	15.9	17.2	14.5	12.1	11.4	7.8
男性-60代	328	81.4	49.7	32.0	28.4	29.6	18.3	28.4	29.6	18.3	14.6	12.8	13.1	7.0	8.2
男性-70代以上	223	85.7	60.1	30.0	27.4	38.6	23.3	39.9	34.1	23.8	15.7	20.2	13.5	12.1	13.5
女性-20代	12	58.3	33.3	8.3	25.0	8.3	50.0	0.0	0.0	8.3	8.3	25.0	8.3	8.3	8.3
女性-30代	91	92.3	44.0	42.9	46.2	33.0	40.7	18.7	23.1	16.5	18.7	22.0	17.6	14.3	8.8
女性-40代	284	88.0	51.1	42.3	40.8	30.3	34.2	23.2	22.9	22.5	22.5	18.3	12.7	18.3	14.8
女性-50代	264	88.3	50.4	32.6	33.3	26.1	29.2	22.3	24.2	17.4	20.5	12.9	14.8	18.9	11.4
女性-60代	134	87.3	57.5	32.8	32.8	34.3	27.6	35.1	29.1	22.4	20.9	10.4	11.9	12.7	8.2
女性-70代以上	59	91.5	64.4	35.6	33.9	32.2	40.7	37.3	35.6	28.8	25.4	18.6	15.3	11.9	20.3

※n=30未満は参考値  
全体 ■ +10% ■ +5% ■ -5% ■ -10% (%)

どんなときに神社に行くかを聞いた結果を性年代別に見ると、年代によって異なる傾向が見られました。「初詣」が全性年代で80%を超え、年代にかかわらず高くなっていったのに対して、「観光・名所めぐり」「参詣」は年代が上がるほど高く、若年層ほど低くなる傾向がありました。反対に、「レジャー・趣味のため」「お散歩で」は男女ともに若年層の30代で最も高くなっていました。儀式ばった意味を離れ、神社を訪れる新しい楽しみ方が若い世代に広がっているのかもしれない。特徴的なのが女性の30代と40代。30代で「厄落とし・ご祈祷」「お守りの購入」が最も高く、40代がそれに続いていました。さらに、「おみくじを引く」も30代女性で最も高く(70代以上でも同率)、次いで40代女性で高くなっています。女性の30代は厄年が2回めぐってくる年代。体の変化や不調が気になりだす年頃、災厄から身を守るため、お守りを買ったりおみくじで運だめしをしたりする人が増えると考えられそうです。

## ■ 願いごとの3位は開運、2位は健康、1位は？

表5 「お寺ではどんな願掛けをすることが多いですか」 についての回答

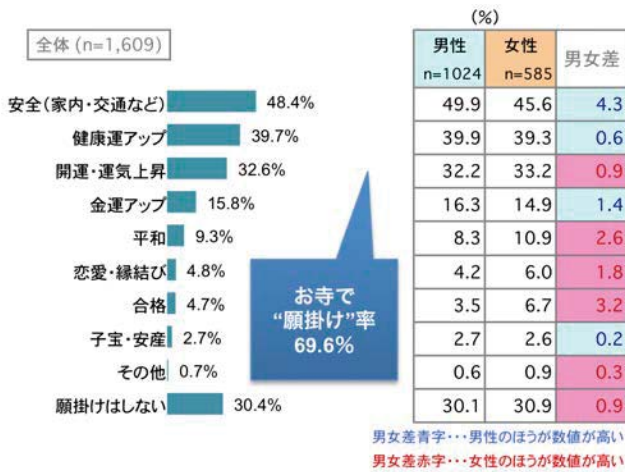
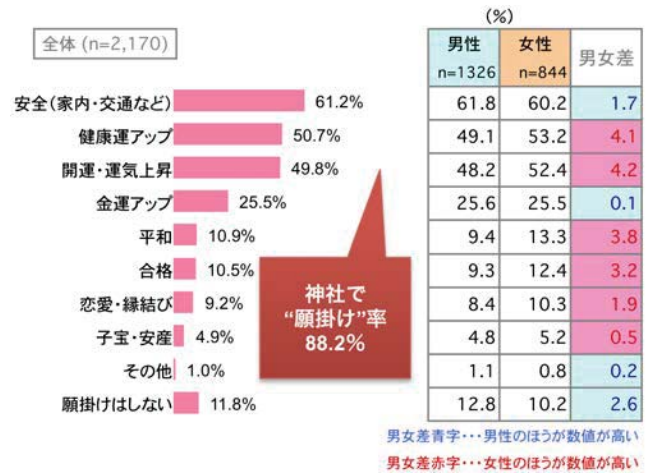


表6 「神社ではどんな願掛けをすることが多いですか」 についての回答



お寺や神社でどんな願掛けをするかを調べました。すると、お寺・神社ともに、1位「安全(家内・交通など)」、2位「健康運アップ」、3位「開運・運氣上昇」と続きました。順位は同じでも、いずれも神社のほうが数値が大きく、また「願掛けはしない」の数値から逆算した「願掛け」率も、神社のほうが高くなっていました。お寺より神社で願掛けをする人が多いことがわかります。

表7 「神社ではどんな願掛けをすることが多いですか」 についての回答 (職業別)

	合計	安全(家内・交通など)	健康運アップ	開運・運氣上昇	金運アップ	平和	合格	恋愛・縁結び	子宝・安産	その他	願掛けはしない
全体	2170	61.2	50.7	49.8	25.5	10.9	10.5	9.2	4.9	1.0	11.8
会社役員・経営者	81	63.0	56.8	58.0	32.1	12.3	3.7	2.5	6.2	1.2	11.1
会社員	839	58.9	45.1	55.3	28.5	10.7	12.0	13.6	6.0	0.7	9.9
自営業	184	62.5	47.8	51.6	28.8	13.0	9.2	9.8	2.7	0.5	14.7
パート・アルバイト	232	58.2	52.2	56.0	29.3	11.2	9.1	9.1	4.7	1.3	6.9
公務員	71	59.2	42.3	42.3	18.3	7.0	5.6	5.6	1.4	1.4	9.9
自由業	59	59.3	44.1	49.2	25.4	11.9	6.8	5.1	0.0	5.1	15.3
専業主婦(主夫)	321	68.5	59.5	46.7	20.9	13.1	16.5	6.2	7.2	0.3	9.7
学生	3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
定年退職	219	68.5	62.6	32.4	17.8	7.3	5.9	3.2	3.7	0.5	17.4
無職	138	53.6	52.2	40.6	20.3	10.1	8.0	5.8	2.2	2.9	22.5
その他	23	52.2	47.8	34.8	21.7	13.0	4.3	4.3	4.3	0.0	17.4

※n=30未満は参考値

全体 ■ +10% ■ +5% ■ -5% ■ -10% (%)

職業別では、それぞれに特徴的な結果が表れました。「健康運アップ」が最も高かったのは「定年退職」。逆に「開運・運氣上昇」「金運アップ」は、「定年退職」が最も低くなっていました。この「開運・運氣上昇」と「金運アップ」で最も高かったのが、「会社役員・経営者」。冒頭の調査の結果(表1)、「会社役員・経営者」はお寺・神社をよく訪ねていることがわかりましたが、運氣や金運の上昇を願うためだったかと思うと納得です。「安全(家内・交通など)」で最も高かったのが、「専業主婦(主夫)」と「定年退職」。「専業主婦(主夫)」は「合格」の数値も飛び抜けて高く、自分のことよりも、家族の「安全」や子どもの「合格」を祈願していると想像されます。いつも家族のことを考えてくれるお母さんや奥様に感謝ですね。

## ■ あなたはいくら入れている？ おさいせんで最も多い金額は・・・

お寺・神社でお参りをするときおさいせんをいくら入れるかを聞いてみました。1位は「100円」33.7%で、3人に1人が回答。財布や小銭入れにたいしてあって、手に取りやすいのかもしれませんが。2位には、「ご縁」と掛けて縁起がいいとされる「5円」18.9%。そして、3位は「10円」12.5%。「遠(とお)縁」とも言われ、あまり縁起はよくないとされる「10円」ですが、100円硬貨同様、財布にいつもある硬貨で金額も手頃だからかもしれません(5円硬貨2枚ならよいという説もあるようです)。4位には穴の空いた硬貨で「見通しがいい」と言われる「50円」が、5位には硬貨のうち最も額の大きい「500円」が続きました。「500円」は「これ以上効果(硬貨)がない」とも言われ、実は縁起がよくないとか。高いほどいいというものではなさそうです。「1000円」以上の人は少なく、紙幣ではなく硬貨を入れている人が大半でした。縁起については諸説あるようなので、おさいせんを納める際には金額の意味にも心を留めるといいかもしれません。

表8 「おさいせんはいくら奉納することが多いですか」 についての回答 (抜粋)

金額	全体 (%)	男性 (%)	女性 (%)	男女差 (%)
5円	18.9	17.8	20.8	3.0
10円	12.5	12.5	12.6	0.1
15円	2.8	2.0	4.1	2.1
25円	1.0	0.7	1.6	0.9
45円	1.4	1.1	2.0	0.9
50円	7.5	6.9	8.5	1.6
55円	1.3	1.2	1.4	0.2
100円	33.7	35.5	30.9	4.6
500円	6.0	6.3	5.4	0.9
1000円	2.1	2.2	1.9	0.3
1001円以上	1.4	1.3	1.4	0.1

(%)

男女差青字・・・男性のほうが数値が高い  
男女差赤字・・・女性のほうが数値が高い

## ■ “大吉で結婚を決めた” “お札が身代わりに”…お寺・神社にまつわるエピソード

### 【大吉・凶・大凶】

- 山形の山寺の頂上でおみくじを引いたら大吉だったので、スマホに撮り、本体は幸運が続きますようにとお願いして置いてきた。運は撮ってきたので大丈夫！（女性・60代）
- おみくじで凶や大凶が出たら、吉か大吉が出るまで引き続ける。地獄の沙汰も金次第（笑）！（男性・50代）
- 結婚を迷い、縁結びの出雲大社でおみくじを引いたら、大吉だったので結婚を決めた。（女性・50代）
- 大学受験のとき、最初の年に凶が出て不合格、2年目に大吉が出て合格した。（男性・50代）
- 一週間で3回引いたおみくじがすべて同じ結果、内容だった。絶対に神様のお言葉だと思った。（女性・40代）

### 【楽しみは…】

- 子どもの頃、初詣に出かけたときりんごアメを買ってもらうのがすごく楽しみでした。（男性・40代）
- 亀戸天神に行くとき必ず船橋屋のくず餅を買って帰る。子どもの頃から慣れ親しんだ、ほかにはない風味が刷り込まれている。（女性・50代）
- 太宰府天満宮の茶店で食べる、できたてのぱりぱりした梅ヶ枝餅は最高です。（男性・60代）
- 伊勢神宮に行ったらおかげ横町に寄るのが楽しみです。（男性・50代）
- 参拝後に御朱印をいただき、待ち時間に周辺の散策や由緒書きなどを見るのが好き。（男性・30代）

### 【お守りの効果】

- 金運がアップするという神社でお守りを買ったら、その買った金額と同じ額が宝くじで当たった。返金されたような気持ちで微妙です。（女性・50代）
- 高校生のとき母から成田山の交通安全のお守りをもらい、二輪車を運転中に自動車と接触事故を起こした。家に着いてお守りを見たら中のお札が割れていた。母曰く、お札が身代わりになったとのこと。（男性・70代以上）
- お守りは、見た瞬間「呼ばれた」と思ったもののみ買う。後でたいてい、そのときの自分にまさに必要なお守りだったことがわかる体験に出くわす。（女性・40代）

### 【不思議な体験、ありがたい体験】

- 車を買ったときはいつも同じ神社でおはらいしており、大きな事故はしていない。一度、違う神社でおはらいしたことがあったが、その車は事故で大破して廃車になってしまった。（男性・40代）
- 臨月の娘が里帰り出産で帰ってきていたときのこと。わが家の近くの氏神様に安産の祈願に行ったら、次の日破水があって2時間で立派な男の子が生まれました。神様ありがとうございました。（女性・50代）

お寺・神社、お守りやおみくじにまつわるエピソードを聞きました。多かったのはおみくじで大吉や大凶が出たときのエピソード。信じるか信じないかは人それぞれとはいえ、気分的には左右されるもの。“凶が出たら吉が出るまで引き直す”という声もありました。一方で、おみくじの結果が、結婚など、人生の決断の後押しをしてくれることもあるようです。参詣や初詣のためにお寺・神社を訪れた際、楽しみは境内や参道の露店、門前町での食べ歩きだという人も大勢いました。“運転中に接触事故を起こしたとき、お守りが身代わりになってくれた”“近所の氏神様に安産祈願した翌日、子どもが生まれた”など、不思議な体験を教えてくれた人も…。やはり神仏の力はあるものだと感じさせられます。心に願いがとがあるなら、かなえるための努力を重ねるとともに、お寺や神社にもしっかりと祈願して、神仏を味方につけたいですね。

**株式会社プラネットとは** <https://www.planet-van.co.jp/>

メーカー、卸売業、小売業がサプライチェーンとして連携し、生活者へのサービス向上を目指して進化を続ける日本の消費財流通を、情報インフラ運営で支えている上場企業(証券コード2391)です。

**From プラネットとは** [https://www.planet-van.co.jp/news/from\\_planet.html](https://www.planet-van.co.jp/news/from_planet.html)

株式会社プラネットが発信しているニュースレターです。消費財に関する、旬なトピックスや意外な利用シーンなどをご紹介します。

### 本件に関するお問い合わせ先

(感想や取り上げてもらいたいテーマなどもお寄せください)

株式会社プラネット 経営本部 経営企画部(角田、岡田)

Tel : 03-6432-0482 / E-mail : keiei@planet-van.co.jp